

工場内に新オフィス

ウッド
パーツ
ライブラリー併設

木材加工のウッドパーツ（高岡市能町、駒井紳司社長）は、プレカット工場内に木材関連のライブラリースペースを併設した新オフィスを設けた。同社によると、工場内に建屋を設けオフィススペースとする取り組みは珍しいという。リニューアルを機に、従業員の席を固定式から、仕事の状況に応じて自由に使うフリーアドレス式に移し、コミ

ュニケーションをさらに深める。第1、2工場があり、梁などの加工を行う第2工場2階に開設した。オフィス内は柱や梁といった構造を露出させる「現し」の工法を採用。柱の本数を減らすことができる「張弦トラス」構造も取り入れ、独特の意匠と木材の質感が漂う開放的な空間にした。併設したライブラリースペー



目指す。総投資額は約8億円。
新工場棟を建設する本江工場の駐車エリア
滑川市本江

べ約3700平方メートル。現工場南側の駐車エリアに建設する。1階部分はプラスチック複合成形品の自動車用部品の生産、2階部分は部品の組み



スには木材関連の専門書など200冊を並べ、見学者が利

で木材販売の南陽吉久との連携を強化する。

工場内に設けたウッドパーツの新オフィス
高岡市能町
用するほか、従業員同士のコミュニケーションの場としても活用していく。

従来のオフィススペースは工場内や隣接するグループ会社棟に分かれていたが、新オフィス開設を機に一体化。業務の効率化を図るほか、グループ会社

研究開発施設の概要を右井知事（説明する西田社長、右から2人目）

